

国際主義と教育

岩 山 太 次 郎

これからの教学はこれまで以上に、情報化と国際化ということを抜きにしては考えられない。教育界はもとより、現代社会はこれら二つを軸として展開していると言っても過言ではなからう。

ところが国際化に関しては、教育界だけではないが、わが国の国際化は真の国際化でないことが多い。国際化には必ず相手があるにもかかわらず、相手である他者を十分に理解しないで、しかも自己中心的で一方向的なものになりがちである。英語では「国際化」ということを言うとき、「インターナショナルライズ」という言葉は普通は使わない。もともと「インターナショナルライズ」は「（ある地域などを）国際管理下におく」という意味である。われわれ日本人が一方向的な考えにたった

国際化を「インターナショナルイズ」という言葉で言うので、英語の方が近年になって、「一方向的な国際化」の意味を和製英語から逆輸入するようになったそうである。

国際化は自己と他者とが平等に関与してはじめて国際化なのである。この自他が平等に関与する国際化は英語では「インターナショナル」である。その派生語「インターナショナルイズム（国際主義）」を『日本語大辞典』は「国家の枠をこえ共同の行動で互いの利益を実現しようとする立場の総称」と解説している。教育においても、国際化は「互いの利益」が「実現」するもの、「インターナショナル」なもの、「国際主義」の考えにもとづいたものでなければならぬと思う。

一三二年前、一八六〇（万延元）年七月、わが遣米使節団の行列をニューヨークのマンハッタンで見たアメリカの詩人ウォルト・ホイットマンは

自由よ……まわりに群がる行列のなかに、あるいは進みゆく隊列のなかに、／わたしが認めているものを他人も見ているかどうかは知らず、／ともかく歌おう君のために「自由」よわたしの目にうつるものの歌を。

……わたしは愛するアメリカを歌い、さらに偉大なる主権を歌う、／わたしは海に浮ぶそれらの群島にやがて花開く幾百の町々の計画を歌う、／……時代を重ねてつづいた眠りも今ようやくその勤めを終えて、さまざまな種族が再生し、蘇えり、／生活が、仕事がつたたび始まり……

古いもの、アジアに属するものたちが運命の定めどおり蘇生する……

（「ブロードウェイの華麗な行列」鍋島・酒元訳）

と歌った。ホイットマンは「自由」を軸として、行列と行列を見る両方の存在が「求心的でありながら同時に遠心的」思想をその根底においていた。ここに彼の国際主義の思想がうかがえるのである。これが国際化であろう。

創立者新島襄には国際主義を直接論じたものは残されていないようであるが、新島は国際主義の考えにたつて同志社を設立したのである。「同志社大学設立の旨意」には、「我邦をして欧米文明の諸国と対立せしめんと欲せば、独り其外形物質上の文明を摸倣するに止まらず、必ず其根本に向つて力を尽さざる可からざる」とある。新島はこの「根本」を軸としてわが国と欧米諸国とを併置しようとした。この「根本」が何であるかは明らかである。それは欧米の文明に血液のごとく流れる「基督教の主義」であつた。

今日、われわれに求められている国際化は「インターナショナルイズ」ではなく、「インターナショナル」な考えにたつたものである。それが真の国際化である。教育においてもこの自己と他者とを平等に併置した国際主義の考えにたつたものでなければならぬと思う。

（同志社大学長）

本校の当面の課題

松本健二



私は、昭和三十六年に女子中学校・高等学校に奉職し、以来国語科教諭として勤務してきましたが、思いがけなくも、本年から校長という大役を仰せつかることになりました。自分ながら甚だ心もとなく思っています。本校教職員の方々を始め、皆様からの励ましをいただき、ようやく一学期を過ごしてきたところです。

さて、本校では、これからの生徒減少期に対応し、教育内容の更なる充実を目指すために、「本校教育の長期計画案」を、長年の間検討してきました。

- ① 中学各学年一学級増と定員増（学級定員は減）、および高校の定員減
 - ② 新静和館の建設と、既存校舎内教室の配置替え等、校内全体の再編成
 - ③ 新しい教育条件・施設設備の下での、中高一貫カリキュラムの再検討
- この計画は、当初、①の「中味」を盛るために、②の「器」はもっと早い時期に用意されるはず

でした。予定からは遅れましたが、今、ようやくその実現に向けて動き出したところです。そして、これから本校は、恐らくこれまでに経験したことのない、緊迫した局面を迎えるはずです。

静和館の改築については、いろいろご心配をおかけしましたが、本年一月着工され、来年夏の完成を目指し、工事は着々と進んでおります。ただ、前述のとおり、着工が遅れたため、竣工を待たずに中学の学級増が中二まで進み、特別教室をホームルーム教室に転用するなど、厳しい教育条件のもとで、過ごさねばなりません。昨年に引き続き、文化祭などの行事も、狭隘さを忍ばねばなりません。ひたすら静和館の完成が待たれます。しかも、その完成を待つて、内部什器類の備え付けや図書館などの移転・既存校舎の教室等の配置替え・会議室の新設工事、などを夏休み中に済ませ、来年九月には、平靜な、新しい二学期を迎えねばなりません。静和館の完成こそは、本校にとって最も切迫した問題であります。無事に完成することを祈るばかりです。

就任の言葉として、私の抱負なり、信条なりを表明すべきところではありますが、現在、このような問題を控えており、まずこれを取りきることが先決だ、と考えます。

しかし、静和館完成の「暁」を思うと、それは薔薇色であります。地下の新図書館は広々とし、生徒達はゆつたりとした気持ちで、勉強にも読書にも励むことができるでしょう。四階ホールは宗教教育・学校行事の場として、クラブその他生徒活動の発表の場として、大いに活用されることでしょう。担任会室は生徒指導に役立つでしょう。前述の長期計画の③を考えるのは、とても楽しいことです。今はひたすら隠忍自重、来年秋の「夜明け」を待ち望んでいます。

最後に、皆様の、女子中学校・高等学校に対するいっそうのご理解とご協力をお願いし、私の就任の言葉とさせていただきます。

(同志社女子中学校・高等学校校長)